

平成23年度 鏡野町中学生海外体験事業

8月17日から21日までの5日間、町内の中学1・2・3年生25人による海外体験事業が行われました。

シンガポール・メイフラワース校生徒との交流やホームステイ体験など、それぞれに貴重な経験とチャレンジ精神にあふれた旅となりました。

(順不同、原稿のまま掲載)



シンガポールと日本の中学生が英語でディスカッションしました

中山 美鈴さん(鏡野中学校)

私は、シンガポールに行つて良かったと思つたことは、ホームステイ先の子や家族の人と仲良くなれたことです。最初は不安だったけど、ジェスチャーなどで接していくうちに仲良くなれました。すごく良かったです。

水田 有美さん(鏡野中学校)

私は、シンガポールに行つて、今まで知らなかったことがたくさんわかつてすごい勉強になりました。ホームステイをして、日本とはぜんぜんちがう、食べ物や言葉やくらしなど体験できてよかったです。ホストファミリーの人達もとても優しくしてくれて嬉しかったです。シンガポールは、とてもすばらしい国だと思いました。

中西 悠河さん(鏡野中学校)

僕はシンガポールに行つて学んだことがたくさんある。その中でももっとも学んだことは英語。それは、僕にとつて英語は苦でた。なのにシンガポールの人は英語をすらすらしゃべってくるので一番英語を学んだ。シンガポールは思つてたよりもすごくきれいで自然豊かだった。この体験をしているいろいろ学べたので今後にいかしたい。

青井 里穂さん(鏡野中学校)

私にとって、この五日間は波瀾万丈でした。向こうに行けば英語で話さなければならぬし、誰も頼れる人はいない。そんな状況でした。そんな中、私が最後までがんばれたのはホームステイ先の家族のおかげでした。何も知らない私を家族と同じように接してくださいました。なので、この体験に参加してよかったです。

竹井 琴華さん(鏡野中学校)

私がシンガポールで、すごく心に残っているのが、ホームステイ先の人達です。スゴフ親切で、言葉の通じない私達にわかるまで、優しく教えてくれました。とても温かく接してくれてうれしかったです。私は、シンガポールに行き、たくさんの人達の優しさをいっぱい感じる事ができたと思います。



チャンギ国際空港でホストファミリーのみなさんと